

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立朝酌小学校

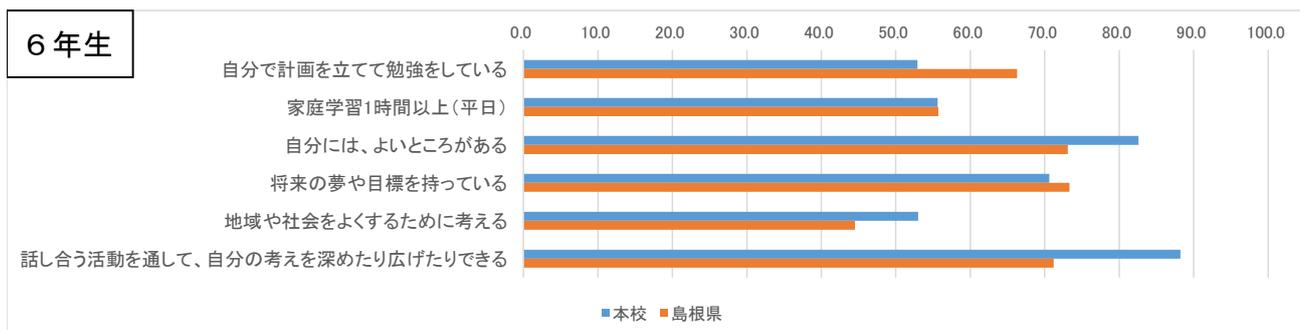
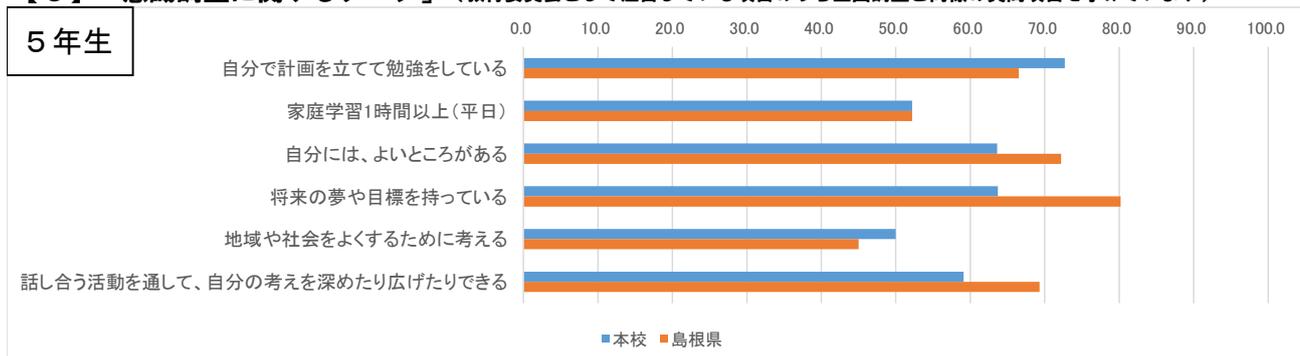
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「希望」「塩」などの4年時の漢字はよくできていて、全国平均を15P以上上回っている。 ●「自然な速さで話す音声を聞いて、正しい情報や文の趣旨を聞き取ることができない。」全国と比較すると20P以上も下回っていて大きな課題である。 ●目的に応じて複数の文章を読む場合において、観点を明確にして文章を比較したり、要旨を2段落にまとめたりすることに課題がある。 ●自分の考えを記述するにあたって、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率は、全国・県平均ともほとんどが上回っている。 ○漢字や文章理解で高い学力を示していて、県平均とは20P以上と数値が大きい。 ○文章理解では、自分の意見を明確にして文章表現ができている。 ●「敬語の使い方」では、正しく使うことができず、全国平均を10P以上下回っている。日常生活において、経験が不足している。 ●目的に応じて複数の文章を読む場合において、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えたり、要旨を2段落にまとめたりすることに課題がある。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○「空位ありの小数の計算ができる」が、全国平均より8P上回っている。 ●平均正答率は、全国・県平均とも同じか、下回っているものが多い。 ●小数の文章問題を図に表すことができず、その問題を解くことができない。 ●単量当たりの文章問題の正答率が低く、全国・県それぞれ10P強下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率は、全国・県平均ともほとんどが上回っている。 ○分数のかけ算・わり算の計算は、全国平均を10P近く上回っており、基礎学力がしっかりと身につけている。 ○図形では、線対称について理解しており、作図もしっかりとできる。 ●分数の分配法則を理解しておらず、全国平均を26P下回っている。 ●「比」について理解が不足しており、特に分数倍となった時の問題を解答することができない。 ●分数の定義が理解不足で、分数のある文章題を読み取ることができない。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	<ul style="list-style-type: none"> ○100%の項目が、「朝食をきちんと食べている」「夕食をきちんと食べている」「夕食は家の人と一緒に食べている」の3項目あった。 ○「学校での出来事を、家の人に話している」は県平均14P上回っていた。 ●「自分のことが好きである」「自分には良いところがある」の値が低く、自尊感情が低い。 ●「将来の夢や目標を持っている」が、県平均を16Pも低く、課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○100%の項目が、「朝は時刻を決めて起きる」「学校に出かける前に忘れ物がないか確かめる」「家の人に言われなくても、進んで勉強する」の3項目あった。 ○「地域の行事に参加している」は県平均を33Pも上回っており、地域の連携が強い。 ●「夜は時刻を決めて寝ている」「自分で時間を決めて、遊んでいる」などの「自分で」の取組が弱く、自立できていない。 ●「勉強をするときに集中して勉強している」は、県平均を25Pも低く、大きな課題である。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生 23 名

6年生 18 名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)